

# 2025年の音楽座ミュージカルは「リトルプリンス」イヤー 「リトルプリンス」を全国各地で上演！

舞台芸術創造事業、人材開発研修事業を行う株式会社ヒューマンデザイン(本社:東京都千代田区六番町、代表取締役:相川タロー、以下ヒューマンデザイン)は2025年を「リトルプリンス」イヤーとし、アントワーヌ・ド・サン＝テグジュペリ『星の王子さま』が原作の「リトルプリンス」を年間通して上演します。



1993年に初演後、『星の王子さま』の世界で唯一のミュージカル化権を取得して上演を続けてきた音楽座ミュージカル「リトルプリンス」。文化庁芸術祭賞をはじめ数多くの演劇賞を受賞し、2022年東宝株式会社製作でライセンス貸与により上演されるなど、長く皆さまより愛されてきた作品です。

大変多くの再演希望をいただいていたことから、原作のフランス語版が出版されてから(1946年とも発表されている)80年目の2025年を音楽座ミュージカル「リトルプリンス」イヤーとして全国各地で劇場での公演、文化庁主催の小中学校での巡回公演、関連イベントなどを開催します。皆さまにご覧いただける劇場での公演は、振付にKAORlaliveさんをお迎えし、相川タロー・ワームホールプロジェクトによる新演出での上演。記念イヤーにお届けする「リトルプリンス」をどうぞお見逃しなく…!

## 音楽座ミュージカル「リトルプリンス」

原作：アントワーヌ・ド・サン＝テグジュペリ『星の王子さま』

脚本・演出：相川タロー・ワームホールプロジェクト

▶STORY ある霧の深い夜、夜間飛行に飛び立った飛行士は、エンジンの故障で砂漠の真ん中に不時着した。その砂漠で、飛行士は星から来たという不思議な少年(星の王子)と出会う。「羊の絵を描いてほしい」としつこく迫る王子に辟易する飛行士だったが、スケッチブックに描いた「象を呑み込んだウワバミ」の絵を言い当てられたことをきっかけに、次第に心を開いていく。飛行士に、自分が住んでいた小さな星や、そこを飛び出すきっかけになった花の事などを話す王子。飛行士は王子の体験を自分に重ね、深く受け止めていくのだった。

▶受賞歴 平成五年度文化庁芸術祭賞/第三回読売演劇大賞優秀女優賞/第三回読売演劇大賞優秀スタッフ賞  
第六回読売演劇大賞優秀スタッフ賞/第26回平成18年度日本照明家協会賞 優秀賞/東京芸術劇場 ミュージカル月間優秀賞

### ■音楽座ミュージカルについて Webサイト <http://www.ongakuza-musical.com>



1987年の旗揚げから現在に至るまで、一貫したテーマのオリジナルミュージカルを創り続けています。それぞれの作品は「生きる」ことの根源を問いかける精神性とオリジナリティを高く評価され、文化庁芸術祭賞、紀伊國屋演劇賞、読売演劇大賞など多くの演劇賞を受賞しています。

音楽座